



あなたも、ぜひご参加を！



当協会の活動には、どなたでもご参加いただけます。南丹市で暮らす外国人の方が増え、「お隣さんは外国人」ということも増えてくることでしょう。また、外国人観光客の増加だけでなく、2021年には、木町で世界的な競技大会である「ワールドマスターズゲームズ」も予定され、世界各国から多くの方が南丹市を訪れる機会がさらに増えると考えられます。イベントでの交流や日本語支援などを通して、日頃からのグローバルなつながりをつくりませんか。

- 外国人への日本語支援！
- 会員として運営をサポート！
- 得意な語学を活かして翻訳・通訳！
- イベントや講座に参加！

南丹市国際交流協会では、「多文化共生」をキーワードに、世界に開かれた「ひと」と「まち」づくりをめざし、さまざまな事業を行っています。市民のみなさまの参画をお待ちしております。

☆あなたも会員になりませんか☆

南丹市国際交流協会では、当協会の趣旨に賛同していただける会員を募集しています。あなたの力、技術、好奇心、笑顔……を活かして、国際交流活動と一緒に楽しみましょう！

	年会費
一般会員	1000円
学生会員 (高校生以上)	500円
企業・団体会員	5000円 /1口

2020年3月1日現在 個人会員100名、企業・団体会員3社（日吉ふるさと株式会社様、株式会社クリスタル光学京都工場様、株式会社犬石様）



イベントのお申し込みやお問い合わせ、くらしの相談などは、協会事務局までお気軽にどうぞ！  
(火)～(金) 12:30～16:30 TEL0771-63-1840

Nantania International Association

南丹市国際交流協会  
〒622-0004 京都府南丹市園部町小桜町62-1 国際交流会館2F  
62-1 Kozakura-machi, Sonobe-cho, Nantan-shi, Kyoto  
Phone: 0771-63-1840 Fax: 0771-63-1841



NO-HELLO ニュース

NO. 25 2020年3月発行

編集●南丹市国際交流協会・啓発委員会  
発行●南丹市国際交流協会  
Nantan International Association  
〒622-0004 南丹市園部町小桜町62-1  
南丹市国際交流会館2階  
TEL: 0771(63)1840 FAX: 0771(63)1841  
E-MAIL: nantania@office.zaq.jp  
発行人●永塚 則昭

# NO-HELLO ニュース

〒622-0004 京都府南丹市園部町小桜町62-1 南丹市国際交流会館2階

TEL: 0771(63)1840 FAX: 0771(63)1841 E-MAIL: nantania@office.zaq.jp

～世界とつながる「まち」をめざして～

なんたん

International カフェ

2019年12月8日

森の学び舎五ヶ荘オープンデーに合わせ

て、「ひと足早いクリスマス会」を行いました。

南丹市でくらす中国、ペルー、ベトナム、ニュー

ジーランド、イギリス出身のみなさんと一緒に

色々な国のクリスマスの話やゲームをして楽し

い時間を過ごしました。「クリスマスと言え

ば・・・」という題での話では、「りんご」

(中国)、「七面鳥」(ペルー)など、それぞれの

国の風土や文化を知ることができました。



チャレンジ！ペルー料理

2020年1月25日

ペルー出身の鍋田ノルマさん(日吉町在住)

から、ペルー料理の作り方や歴史のお話を聞いて

た後、「ロモサルタード」「カウサレジェーナ」の2品

をグループに分かれて作りました。「ロモサルター

ド」は、中国からの移民の方々がペルーへ伝えた

もので、醤油が入っているのが特徴です。

参加者のみなさんからは、「遠いペルーがすぐ

く身近に感じられました」「ペルー料理は初めて

食べたけど、おいしかったです」という感想が出

されました。





にほんごしえん ようせいこうざ  
日本語支援ボランティア養成講座



2020年2月1日、8日、22日

こうし 講師： 京都にほんご Rings 研修チームのみなさん

これまで外国人の方へ日本語を教える経験をされている方、これからボランティアを始めたい方、

約25名が参加し、講義に熱心に耳を傾けました。

グループワークでは、実際に外国人の方に日本語を教える時に、伝わりにくい文章を分かりやすく書き

換えたり、ジェスチャーを使って伝えたりする方法を参加者で話し合いながら考えました。また、講師の

先生からは、日本語教育の基本的な内容、教材や絵カード、

役に立つウェブサイトの具体的な紹介だけでなく、支援者

として大切にしたい心構えについても、具体例をふま

ながら、お話いただきました。



主催：京都府国際センター、南丹市国際交流協会

南丹市で暮らす外国人の数は、296名(※2019年2月)から367名(※2020年2月)と、この1年間で大幅に増えています。昨年4月の入管法改正により、技能実習生など市内企業で働く外国人の方も増えています。 ※南丹市HPより



南丹市国際交流協会の「外国人のための日本語教室」では、ベトナム、中国、ネパール、アメリカ合衆国、アルゼンチン、ペルーなど世界各国出身の約40名の学習者がボランティアの支援者とともに生活の中で使える日本語を学んでいます。

南丹市国際交流会館で行っている日曜日、木曜日の教室の他に、「学びたい人が学びたい時に学べるように」ということをめざして、美山地域での日本語教室の開催に向けても準備を進めています。

こくさいりかいこうえんかい  
国際理解講演会

ねん がつ にち  
2020年2月22日

「ミャンマーへの支援 ー世界の子どもをもっと知ろうー

ほんとう へいわ ひんこん  
本当の平和は貧困をなくすこと

にしおか なおや なんたん し こくさいこうりゅうきょうかい リ ジ  
西岡 尚也 (南丹市国際交流協会理事)



講演の内容より

ミャンマーは、経済発展する東南アジア諸国の中では取り残されてきた国といえます。面積は日本の約2倍、人口は半分です。そして135の民族からなる連邦国家です。

私は、ミャンマーからの留学生との交流の中で、「多民族国家」であるための多くの課題の存在、そして義務教育がまだ十分に実施されず、学校・教員・教科書などが不足する現状を知りました。そして帰国した彼らの小学校づくりに協力し、2013年6月にヤンゴン市北方のガストン村に私立学校を開校しました。学校は、村民や村長、お寺などの協力で運営をしています。校舎ができた後も、子どもたちの体格に合った机やきれいな水のための井戸、蚊を防ぐための網戸を作ったり、給食の提供をしたりなど、多くの課題を少しずつ解決してきました。

現代の世界は、世界地図を見れば「豊かな先進国」の多くが北に、「貧しい途上国」の多くが南に分布していることが分かり、経済格差の「南北問題」が大きな課題になっています。南の途上国は「第三世界」とも呼ばれてきました。これはフランス革命の「第三身分」に由来します。近い将来、世界全体を変革する大きな勢力になる意味を含んでいます。

このような支援活動からは、豊かな日本の日常では忘れてしまった事柄にも、改めて気づくことが多くあります。そのような中で、すべての子どもたちが教育を受ける権利を整えていくことが緊急の課題です。先進国の人々には、途上国では約8億人が貧困に苦しみ、多くの子どもたちが十分な教育を受けられていないという現実を知ってほしいと思います。

国際理解はまず「現状を知ること」からスタートします。そして「理解」=understandの語源は「下に立つ」です。経済的に豊かな国に住む私たちは、貧しい国の人々の貧困を他人事にせず、「(自分か)下に立つ」という姿勢を持たないと、本当の国際理解には至らないといえます。

